

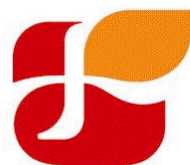
食よく、バランスよく。

「新・日本型食生活」をめざして



2019年3月期 第2四半期
決算説明会資料
(2018年4月1日～2018年9月30日)

2018年11月6日



フジッコ株式会社 (2908)

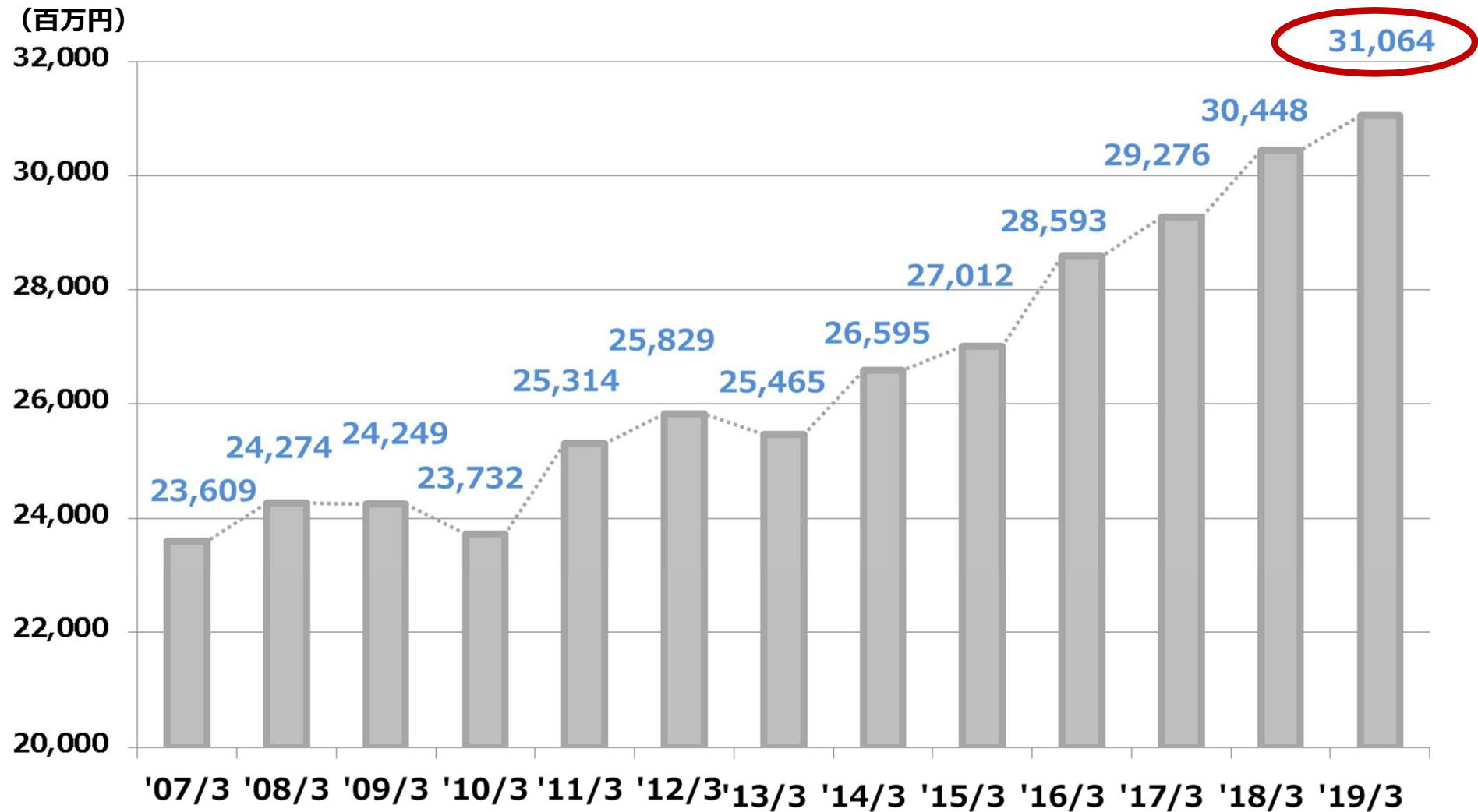
<https://www.fujicco.co.jp/>

2018年度上半期トピックス

代表取締役社長

福井 正一

第2四半期累計期間 連結売上高の推移



売上高	23,609	24,274	24,249	23,732	25,314	25,829	25,465	26,595	27,012	28,593	29,276	30,448	31,064
[前期比]	100.9%	102.8%	99.9%	97.9%	106.7%	102.0%	98.6%	104.4%	101.6%	105.9%	102.4%	104.0%	102.0%



赤枠内は新商品

小鉢シリーズの躍進

佃煮



惣菜



煮豆



小鉢シリーズ 期待の新商品





フジッコ

日本の ねばり強さを つくる

カスピ海乳酸菌

※正式名称：クレモリス菌FC株

カスピ海ヨーグルト

【TVC M放映エリア・期間】

- ☆東日本 5/10～ 6/10
- ☆北海道 6/10～ 7/10
- ☆南九州 6/10～ 7/10
- ☆中京圏 10/10～11/10

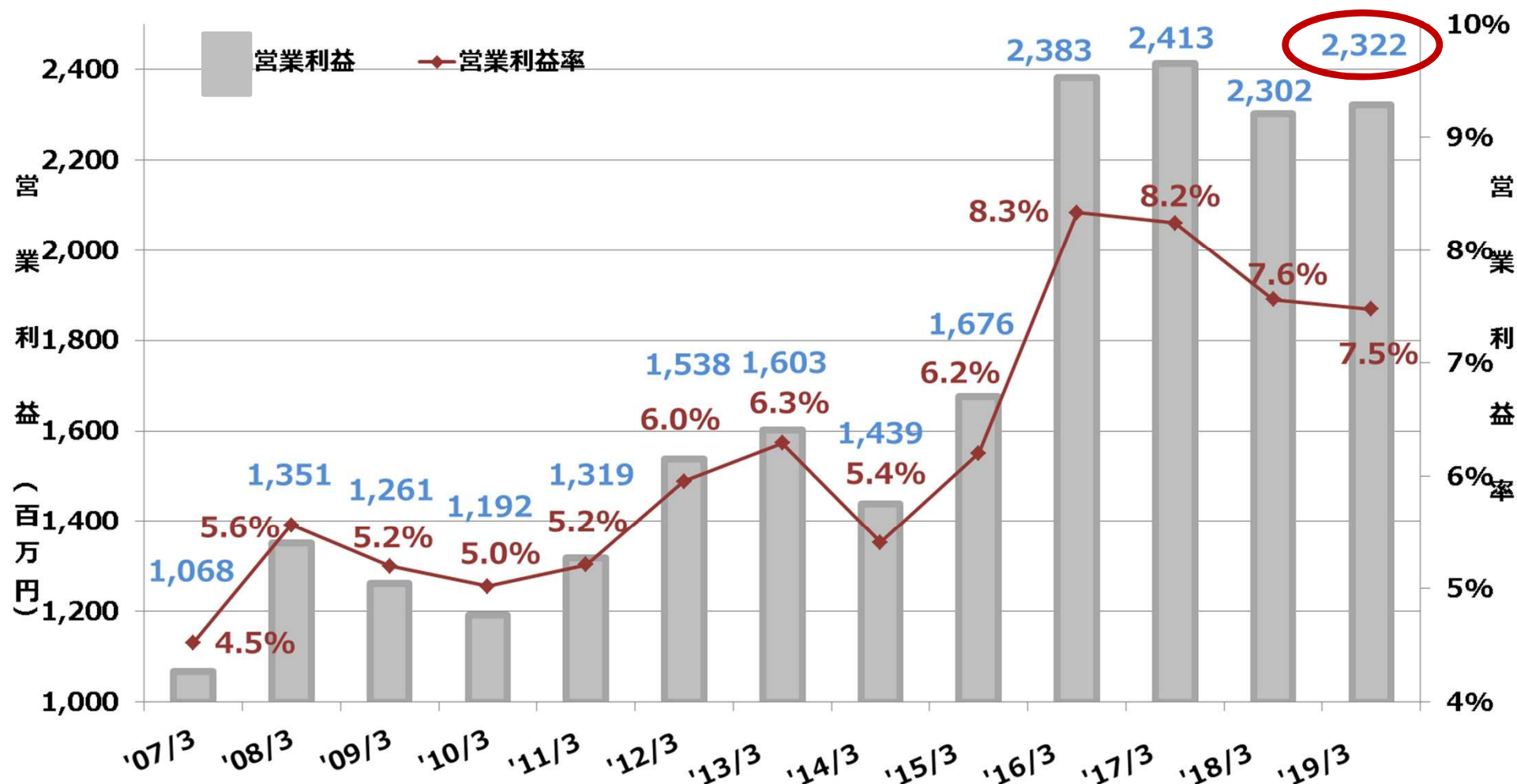


「ふりふり塩こんぶ」 TVCM放映開始

－ 近畿圏 10月11日～11月10日 －



第2四半期累計期間 営業利益・営業利益率の推移



よかった点

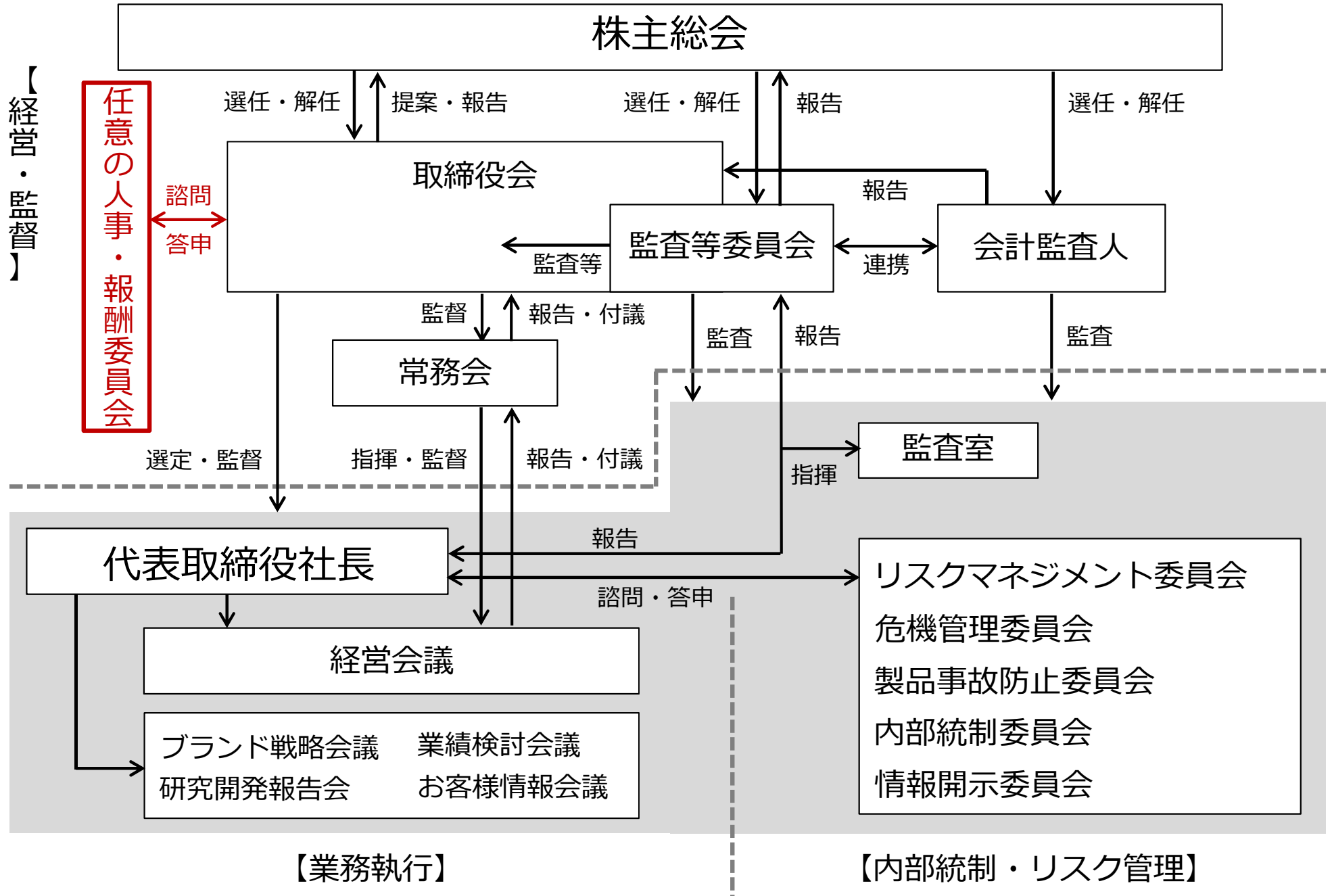
- ◎ 営業利益、経常利益、四半期純利益いずれも増益に転じる
- ◎ 販管費比率が前年より改善
- ◎ 「おばんざい小鉢」の成長が継続
- ◎ ヨーグルト事業は会社予想を達成



悪かった点

- ◎ 売上原価率が前年より悪化
- ◎ 豆製品の売上回復が課題
- ◎ 自然災害による特別損失74百万円の計上

ガバナンス改革の推進 ～ 任意の人事・報酬委員会の新設 ～



2018年度 上期決算概要と通期業績の見通し

**専務取締役
経営推進本部長
奥平 武則**

上期決算概要

連結損益計算書（前年同四半期比）



	2018/3期第2Q		2019/3期第2Q		増減額
	百万円	%	百万円	%	
売上高	30,448	100.0	31,064	100.0	616
売上原価	17,770	58.4	18,299	58.9	529
売上総利益	12,678	41.6	12,765	41.1	87
販売費及び一般管理費	10,375	34.1	10,442	33.6	66
営業利益	2,302	7.6	2,322	7.5	20
営業外損益	177	0.6	167	0.5	△9
経常利益	2,479	8.1	2,489	8.0	10
特別損益	△41	△0.1	270	0.9	312
税引前利益	2,437	8.0	2,760	8.9	322
四半期純利益	1,668	5.5	1,896	6.1	228
1株当り純利益 [潜在株式調整後]	55円83銭 [55円76銭]		63円41銭 [63円34銭]		7円58銭 [7円58銭]

※ 四半期純利益は、親会社株主に帰属する四半期純利益になります。

売上高は増収キープ

営業利益、経常利益、四半期純利益はいずれも増益に転じる

- ◎ 売上高は616百万円の増収
- ◎ 売上原価率は58.9%、前期より0.5ポイントの悪化
- ◎ 販管費率は33.6%、前期より0.5ポイントの改善
- ◎ その結果、営業利益は20百万円の増益、
営業利益率は7.5%と前期より0.1ポイントの悪化
- ◎ 経常利益は10百万円の増益
- ◎ 四半期純利益は228百万円の増益
- ◎ 1株当たり四半期純利益は63円41銭、前期より7円58銭の増加
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は63円34銭

連結製品分類別売上高（第2四半期累計期間）



（百万円）	前期 実績	構成比 %	当期 実績	構成比 %	前期差	前期比 %
惣 菜 製 品	9,677	31.8	10,187	32.8	510	105.3
昆 布 製 品	8,220	27.0	8,447	27.2	227	102.8
豆 製 品	6,471	21.3	6,250	20.1	△221	96.6
ヨーグルト製品	3,299	10.8	3,484	11.2	185	105.6
デザート製品	2,101	6.9	2,033	6.5	△67	96.8
そ の 他 製 品	677	2.2	660	2.1	△17	97.4
合 計	30,448	100.0	31,064	100.0	616	<u>102.0</u>

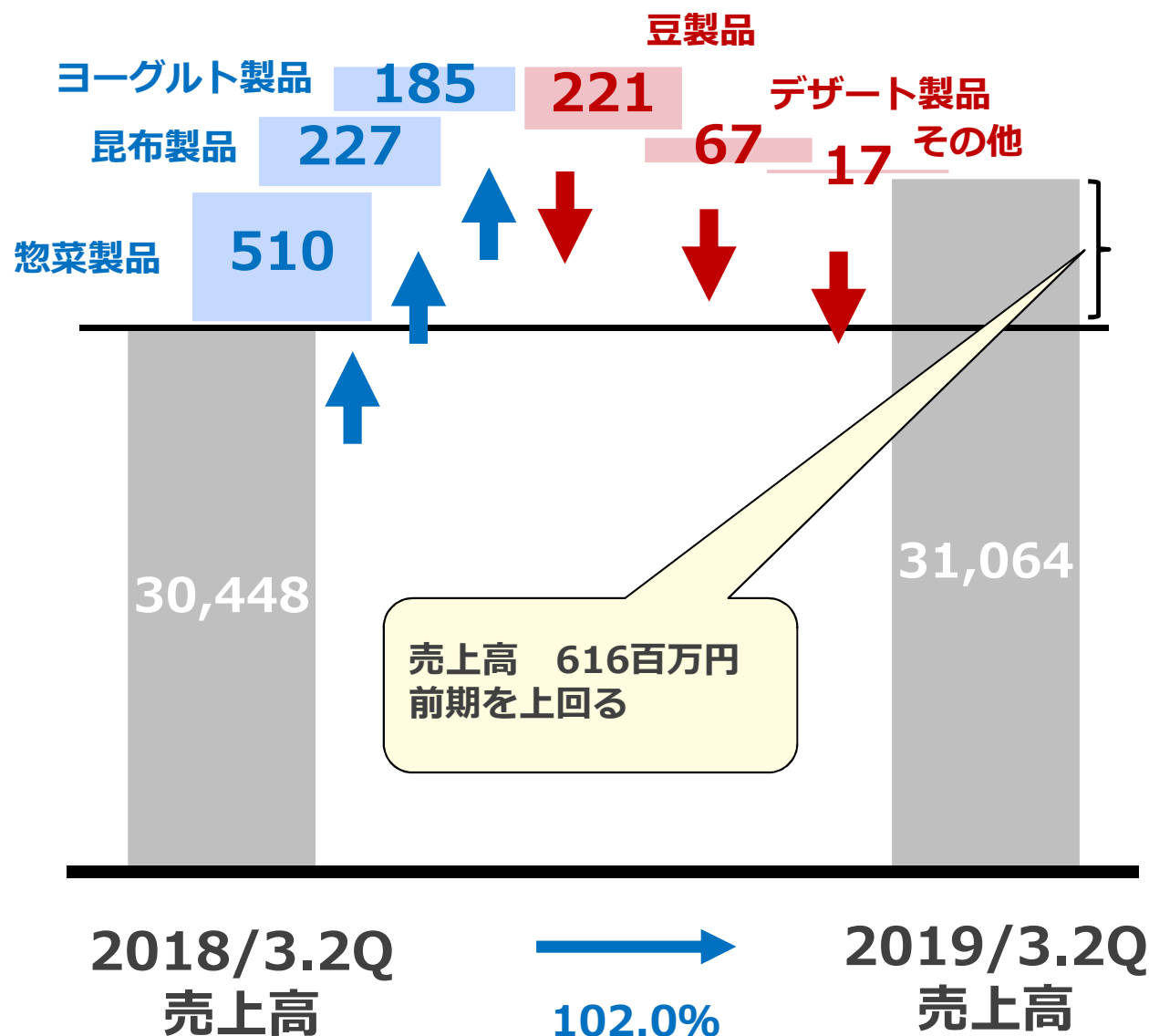
◎売上をけん引した品群（前期差）

おかず畑惣菜	+510百万円
日配惣菜	+189百万円
塩こんぶ	+186百万円
カスピ海量販	+147百万円

売上高の増減要因分析（前年同四半期比）



単位：百万円



【総括】

豆製品、デザート製品が前期より下回ったが、惣菜製品、昆布製品、ヨーグルト製品が前期より上回ったことから、全体では前期より616百万円上回った

【増加要因に対するコメント】

惣菜製品では包装惣菜、日配惣菜とも伸長

ヨーグルト製品では、量販チャネル「カスピ海ヨーグルト」、通販チャネル「善玉菌のチカラ」とともに大きく伸長

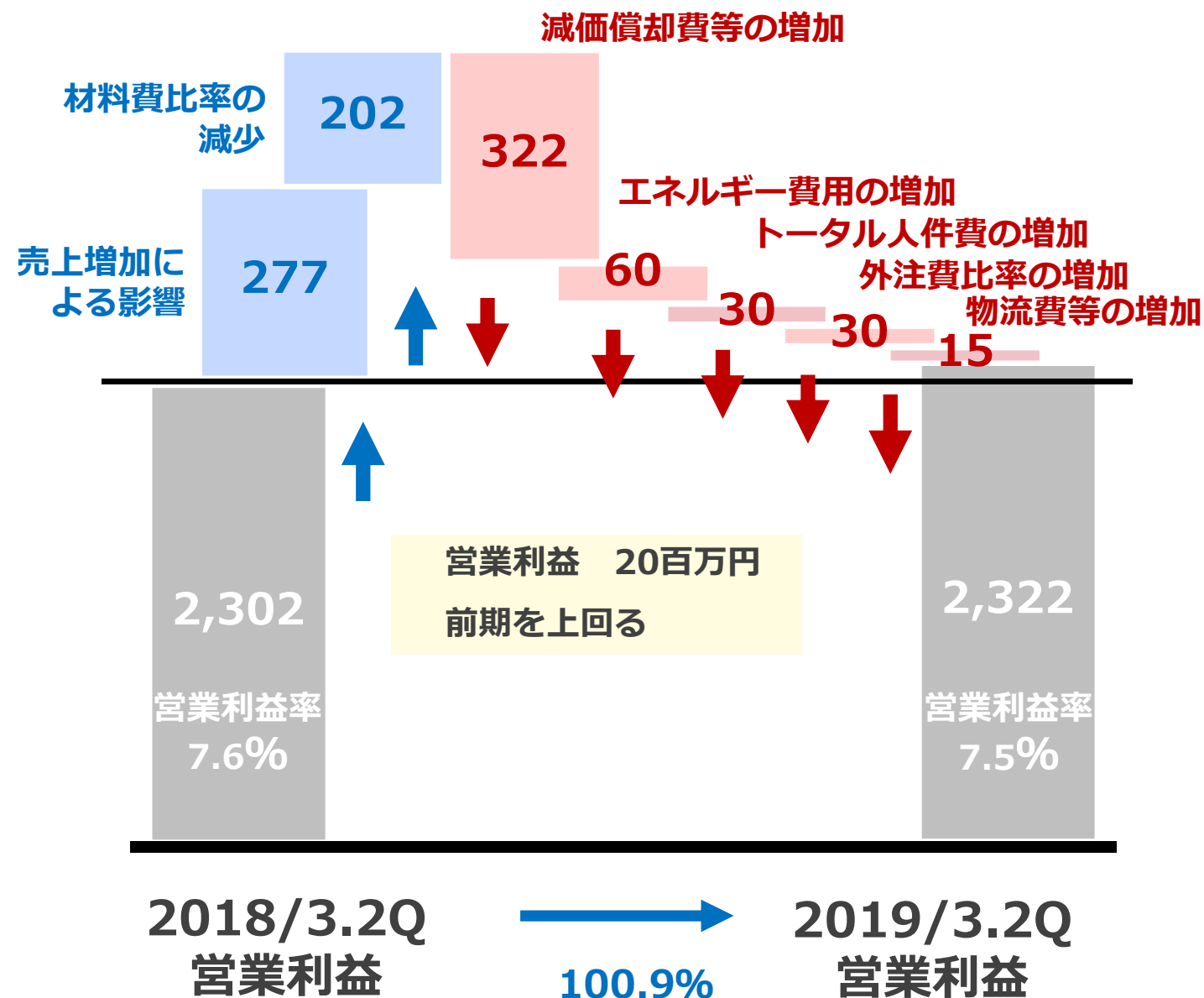
【減少要因に対するコメント】

豆製品は、煮豆の減少分を蒸し豆の伸長で補うことができず

営業利益の増減要因分析（前年同四半期比）



単位：百万円



【総括】

営業利益の増加は、売上原価率が上昇したものの、販管費率は前期より改善したため

売上原価率の上昇は、材料費比率は減少したが、減価償却費、製造人件費、エネルギー費用等の増加を補うことができなかった

【増加要因に対するコメント】

- ・ 材料費比率の減少は砂糖及び惣菜製品の原材料の単価改善等による

【減少要因に対するコメント】

- ・ 減価償却費の増加
- ・ 製造人件費の増加
- ・ エネルギー費用の増加
- ・ 物流費の増加

売上高の増減要因分析（会社予想との比較）



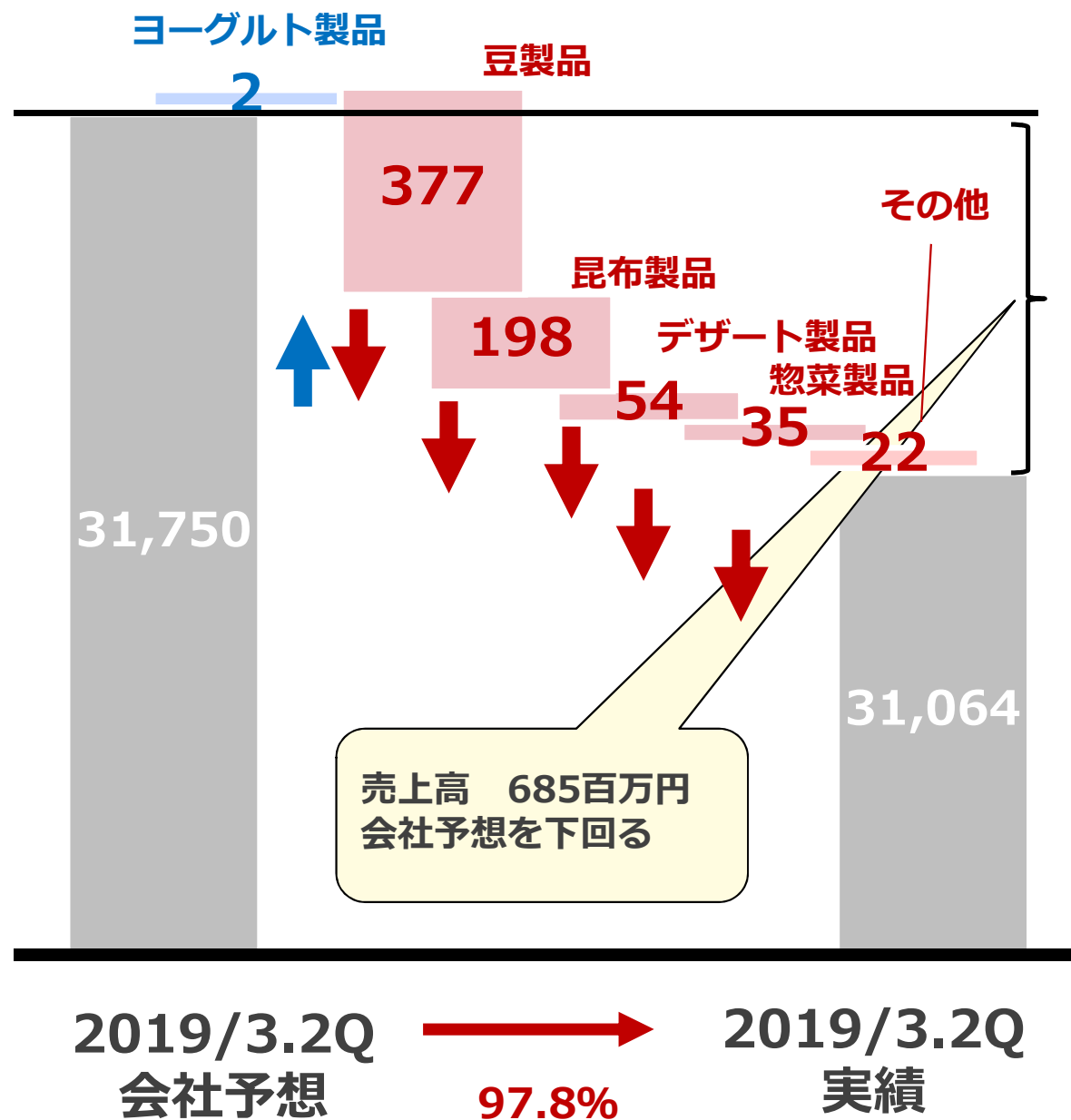
単位：百万円

【総括】

ヨーグルト製品のみ会社予想を上回った

コア事業の昆布製品と豆製品、デザート製品、惣菜製品が会社予想を下回った

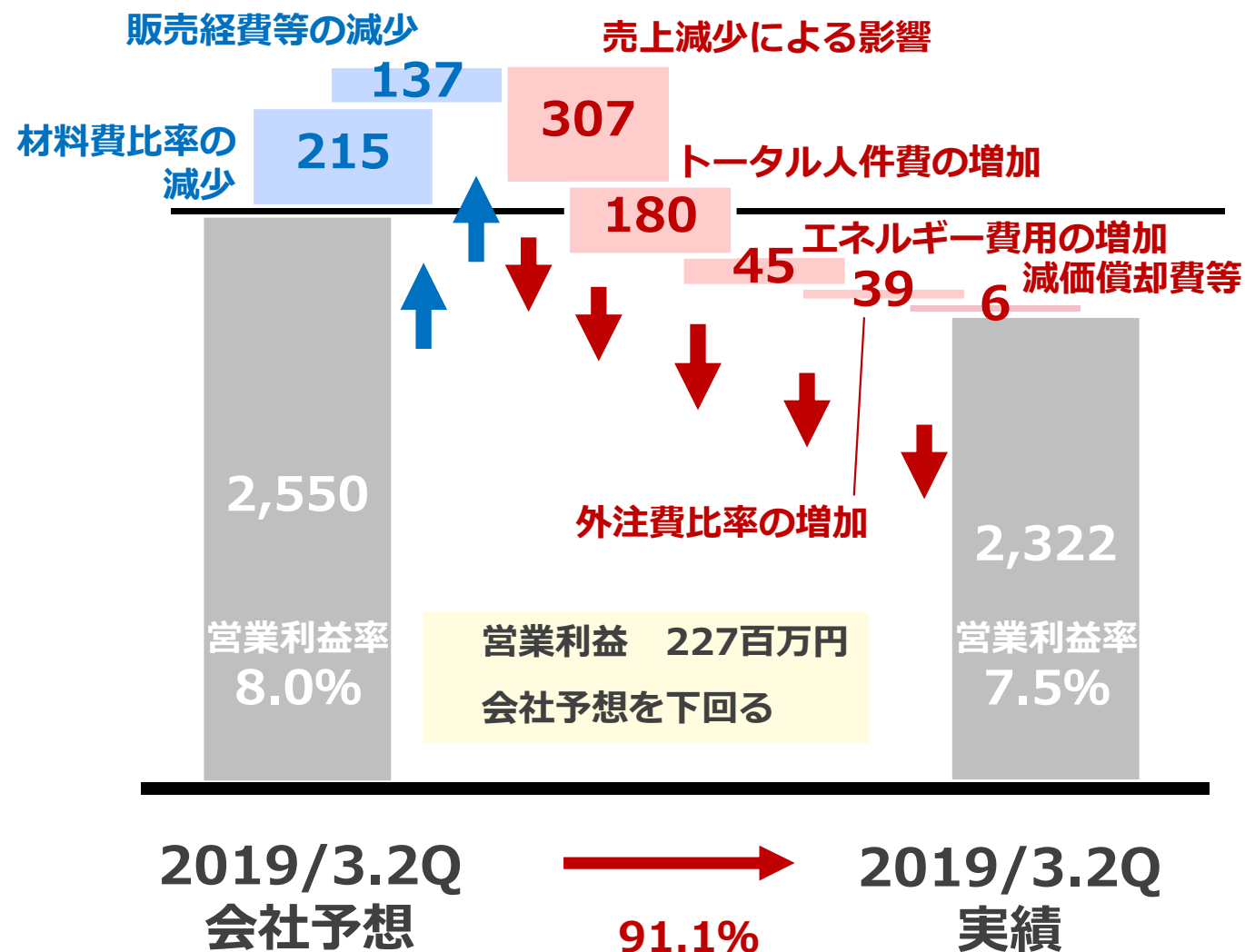
売上高は会社予想より685百万円下回った



営業利益の増減要因分析（会社予想との比較）



単位：百万円



【総括】

売上高が会社予想に届かなかったことに加え、トータル人件費、エネルギー費用等の増加分を材料費比率の改善等で補うことができなかった。

【増加要因に対するコメント】

- ・材料費比率の改善は、主に砂糖、惣菜製品の貢献度が大きかった

【減少要因に対するコメント】

- ・トータル人件費の増加
- ・エネルギー費用の増加

四半期会計期間の売上・営業利益の増減推移（前期比）



(単位：百万円)		売上	営業利益	営業利益率
第1 Q (4 - 6月)	前第1 Q	15,227	1,124	7.4%
	実績	15,340	1,048	6.8%
	増減	+113	△76	－
	前同四半期比	100.7%	93.1%	－
第2 Q (7 - 9月)	前第2 Q	15,220	1,177	7.7%
	実績	15,724	1,274	8.1%
	増減	+503	+97	－
	前同四半期比	103.3%	108.2%	－
累計 (4 - 9月)	前期	30,448	2,302	7.6%
	実績	31,064	2,322	7.5%
	増減	+616	+20	－
	前同四半期比	102.0%	100.9%	－

1. 災害損失（実額） . . . 74百万円（特別損失として計上）

「台風第21号」

鳴尾工場 : 停電による製品等の廃棄ロス

西宮オフィス : 屋上看板の一部はく落

「北海道胆振東部地震」

北海道工場 : 停電による原材料等の廃棄ロス

【ご参考】

2. 売上機会ロス . . . 1億円程度（推計）

停電による一時操業停止、物流網の混乱

3. 逸失利益 . . . 0.4億円程度（推計）

売上機会ロスに対して逸失した利益

通期業績の見通し

(単位：百万円)	2018/3 実績	構成比 %	2019/3 予想	構成比 %	前期差	設定率
惣 菜 製 品	20,064	31.9	21,235	32.3	1,170	105.8%
昆 布 製 品	17,619	28.0	18,373	27.9	753	104.3%
豆 製 品	14,063	22.3	14,565	22.2	501	103.6%
ヨーグルト製品	6,391	10.2	6,815	10.4	423	106.6%
デザート製品	3,359	5.3	3,272	5.0	△87	97.4%
そ の 他 製 品	1,418	2.3	1,438	2.2	20	101.4%
合 計	62,917	100.0	65,700	100.0	2,782	104.4%

取り組み方針

- 惣菜製品 : 包装惣菜「おばんざい小鉢」の販売拡大、日配惣菜の持続的成長
- 昆布製品 : 次世代商品「ふりふり塩こんぶ」の普及・育成
- 豆製品 : 年末黒豆の拡販、蒸し豆のシェアアップ
- ヨーグルト製品 : 「カスピ海ヨーグルト」受験生粘り勝ちキャンペーン
- デザート製品 : 期間限定商品の投入

連結業績予想

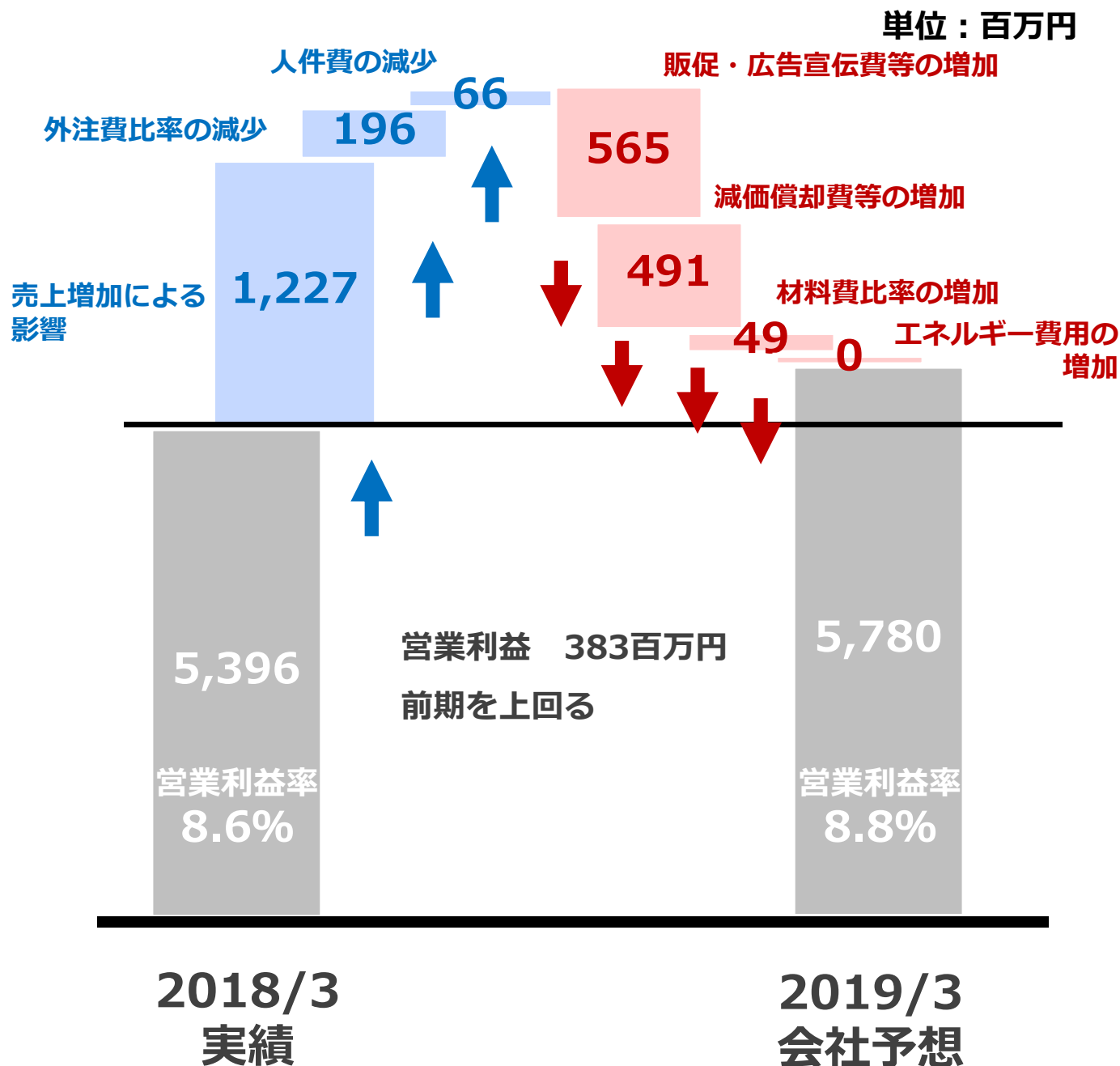


	2018/3期		2019/3期予想		増減額
	百万円	%	百万円	%	
売上高	62,917	100.0	65,700	100.0	2,782
売上原価	36,927	58.7	38,350	58.4	1,422
売上総利益	25,989	41.3	27,350	41.6	1,360
販売費及び一般管理費	20,592	32.7	21,570	32.8	977
営業利益	5,396	8.6	5,780	8.8	383
営業外損益	331	0.5	300	0.5	△31
経常利益	5,728	9.1	6,080	9.3	351
特別損益	△214	△0.3	—	—	214
税引前利益	5,513	8.8	6,080	9.3	566
当期純利益*	4,023	6.4	4,200	6.4	176
1株当り当期純利益	134円57銭		140円41銭		5円84銭

1株当り配当金	36円（中間18円）	38円（中間19円）	2円
---------	------------	------------	----

* 当期純利益は、親会社株主に帰属する当期純利益になります。

営業利益の増減要因分析（前期比）



【ポイント】

① 予想どおりの増収

② 1人当たり生産性の向上

- ・ 生産性KPIの追求
- ・ FCR-1の推進

③ 販管費率の改善

- ・ 販売経費の総枠管理
- ・ トータル物流費の低減

この資料には、当社の現在の業績見通しなどが含まれております。それら将来の予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、当社が予測したものであります。実際の業績などは、今後の様々な条件・要素によりこの予想などとは異なる場合があります、この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。

～ お問い合わせ先 ～

経営企画部	尾西まで
T E L	078-303-5921
F A X	078-303-5949